



▲8月22日に開催したフォトレッスンでは、1期生のメンバーとも意見を交換し「思いのバトン」が2期生に託されました

市民が伝える魅力あるまち こがキラphotoクラブ (2期生)活動開始

古河市に暮らす人たちの目線で、まちの魅力を発掘・発信する「こがキラphotoクラブ」の2期生の活動が9月から始まりました。

高校生や主婦、会社員などで構成される12人のメンバーは、活動を開始するにあたって開催したフォトレッスンで、「映える」写真の撮り方を学びました。

市のSNSを通じてまちの魅力をたくさん発信していきますので、応援よろしくをお願いします。



▲市内小中学校で約700kgの常陸牛を牛丼の具やいも煮として提供。みんなでおいしく給食を食べました

みんなで楽しく、おいしい給食 ブランド和牛「常陸牛」 を学校給食で提供

8月～10月にわたり市内小中学校で茨城県のブランド和牛「常陸牛」を使用した学校給食を提供しています。

この取り組みは、新型コロナウイルスの影響により和牛の需要が減少した畜産農家を支援するため、県事業の一環として行われています。

給食を食べた子どもたちからは「お肉が柔らかくてすごくおいしい」「また食べたい」などたくさんの笑顔が見られました。

野球をとおしてにぎわい創出を 茨城アストロプラネッツ BCリーグ市内公式戦

8月16日、古河市民球場でプロ野球独立リーグ・BCリーグ茨城アストロプラネッツVS神奈川フューチャードリームスの試合が行われ、手に汗握る白熱した試合を繰り広げられました。

先発投手は総和工業高等学校出身の大竹凌大選手。地元での試合ということもあり、たくさんの声援を受けて力投しました。



▲登板した大竹投手は力強い投球をみせました

元気と笑顔の源！ シルバーリハビリ体操教室



▲イスに座った状態で体操する参加者

9月から市内施設等でシルバーリハビリ体操教室を開催しています。

この体操は、道具を使わず、いつでも、どこでも、一人でもできるため、介護予防に役立ちます。

9月4日の古河福祉の森会館では24人が参加。参加者からは「教室が再開してうれしい」「体が軽くなった」などの声が聞こえました。

すばらしい景観を身近なものに 第3回古河市景観賞 応募作品巡回展

8月1日～28日、市役所各庁舎で古河市景観賞応募作品巡回展を開催。

市内の旧城下町や街道沿いの歴史・文化的景観、まちづくり活動など、市民が誇りを持てる景観として応募があった17作品が展示されました。

来場者はさまざまな作品を見て、市内のすてきな街並みや活動風景に関心を寄せていました。



▲古河庁舎では8月22日から28日まで展示されていました

まちの魅力を再認識 私たちの街・古河市 写真展



▲来館者はゆっくりと写真を楽しんでいました

8月12日～9月22日、古河街角美術館で私たちの街・古河市写真展を開催しました。

会場には市内の写真クラブや団体の協力により、街中にある良き風景や風情が感じられる写真を展示。

来館者は古河の魅力が写し出された写真に見入っていました。